

岡山県畜産会第二回総会

ごあいさつ

会長 花尾省治

七月号 目次

畜産会二回総会	花尾省治
畜産会の主な事業	2
巡回指導簿より	6
巡回指導簿より	11
ロイコチトゾーン症の 防除対策	4
ソルゴーの利用性について	9
環境整備リース事業	12
第三回農林漁業祭	10
第三回県共進会	14
ニュース	15
盆栽だより	16

第二回通常総会を開催するに際しまして一言ご挨拶を申し上げます。本日は会員の皆様におかれましては、公私ともお忙しい中を多数ご出席いただきましたことを厚くお礼申し上げます。

昨年、我国は東北、北海道の冷害、西日本は台風一七号の被害を受けました。加えて冬期は、異例の寒波と大雪に襲われ農業にとって大きな痛手をこうむりました。

幸い畜産にとりましては、五一年度は国際的な飼料穀物需給の安定、牛肉価格も一昨年暮れより回復いたしました。

戸、採卵鶏では羽数で三%増の五、三一千羽、戸数で二・一%減の九、〇一〇戸、プロイラーでは羽数で二・三%増の二、〇五九千羽、戸数で一〇・三%減の一六六戸となっています。

飼養頭羽数は、肉用牛以外は増加しており一方飼養戸数は何れも前年比で減少しています。このことは飼養規模の拡大が進んでいると言えましょう。

このような現状をふまえ、畜産会では県下の畜産の発展に寄与するため、畜産指導事業を行なっていますが、五二年度より新たに畜産特別指導事業をはじめ新しい事業も加わり、県下の畜産の発展のため努力していくつもりですので、今後共一層のご指導、ご支援の程をお願いします。

畜産經營を大きく左右する配合飼料価格は、昨年度に引き続き、概ね横ばいで推移するものと思われます。

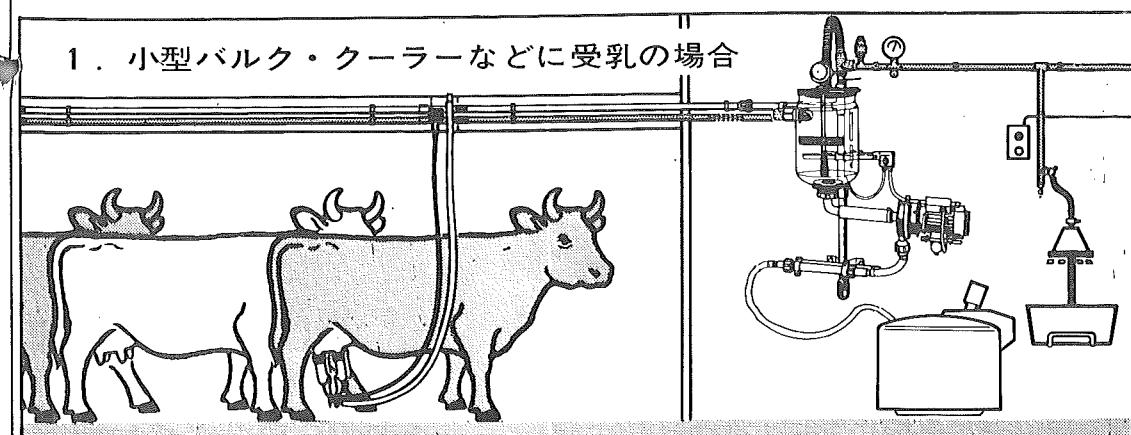
しかしながら、大家畜においての粗飼料不足を補う、輸入粗飼料については、不安定な材料が多く、そのためにも、岡山県のような西南暖地では、水田裏作の

100万円以下でパイプラインを!!

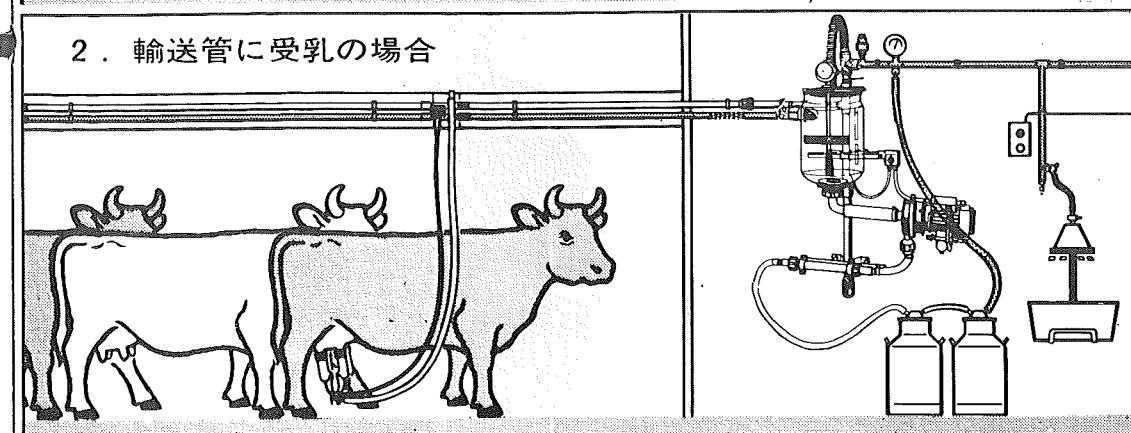
ALFA-LAVAL

アルファマチックマイナー218PE

1. 小型バルク・クーラーなどに受乳の場合



2. 輸送管に受乳の場合



- (1) 各装置はブロック毎にユニットになっており設備工事説明書も付いておりますので奥様や子供さんに手伝ってもらってご自分でも設備する事が出来ます。勿論経験の多い専門の技術者による工事もお引受け致します。
- (2) アルファ・ラバル・バケット・ミルカーをお持ちの場合、マイナー218PEに使える部分もありますが、バルセーターなど改良されている部品もありますのでご使用ご用命の程おすすめします。
- (3) 見積例 18頭牛舎用（工事費含む）で、900,000円概算となります。

中国酪機株式会社

本 社 岡山市石関町1の15 TEL (0862)26-0547
米子営業所 米子市道笑町3の30 TEL (0859)22-3539
浜田営業所 浜田市原井1217の2 TEL (08552)3-2990

養鶏試験場のページ

ロイコチトゾーン症の防除対策

専門研究員 高橋 彰

はじめに

飼料安全法による飼料添加物の規制以来、今まで、薬剤の添加により発生が抑えられた疾病的多発が予想される。特に飼料中に、ピリメタミン、サルファ剤を添加することによって、十分

- (1) の発生源対策は、発生源が主として湿田、水田があるので、ニワトリヌカカのための水田対策は実際問題として困難であり、(2)、(3)については検討が可能と思われる。
- (2) のニワトリヌカカと鶏との接触を絶つ

ニワトリヌカカ防除対策の方法

- ニワトリヌカカの発生を抑制する。
- ニワトリヌカカと鶏との接触を絶つ。
- ニワトリヌカカを駆除する。

(1) のニワトリヌカカを駆除する方法としては、殺虫忌避剤の使用、ビニールダクトを応用しての蚊取線香などによる防虫が考えられる。

予防の目的を達成していたロイコチトゾーン症の場合は現在、最も関心が深く危険性を感じる問題である。そこで、ロイコチトゾーン症の今後の防除対策について考えてみると、現況では中間宿主であるニワトリヌカカ防除対策が重要な課題となっている。

当場における試験計画および中間成績について参考のために第一次情報を提供する。

(1) ニワトリヌカカの発生消長

ニワトリヌカカ防除対策として本年度当場で試験を計画している方法と、現在(六月末)までに判明している調査成績について参考のために第一次情報を提供する。

ニワトリヌカカ防除対策として本年度当場で試験を計画している方法と、現在(六月末)までに判明している調査成績について参考のために第一次情報を提供する。

当場における試験計画および中間成績については、岡山大学、県内各保健衛生所でも実施しているので県内各地のニワトリヌカカの実態が把握できると考えられる。当場のニワトリヌカカの採取は毎月曜日の夜から火曜日の朝にかけて一定の時間又は終夜のいずれかでライト・トラップを使用して実施しており期間は五月から十月まで行なう。採取場所については場内の二~三箇所で、採取したニワトリヌカカについては、オス、未吸血メス、吸血メス数について調査している。

五月から六月までの調査例は表1のとおりである。ニワトリヌカカの発生は、メス、吸血メス数について調査している。

調査回数	天候	温度(℃)	ニワトリヌカカの発生消長					
			総数	オス	メス	吸血メス	吸血率	
※1	晴	18.3	11	9	2	0	0	0
※2	曇	22.0	7	4	3	0	0	54.2
3	曇	22.0	50	26	11	13	42.6	4.26
4	晴後曇	23.0	324	148	101	75	45.9	45.9
5	晴	21.4	376	56	173	147	75.3	75.3
6	曇後雨	20.5	278	27	62	189		

注 每週月曜日(※一定時間又は終夜)採取

表2 ニワトリヌカカに対する防虫ランプの忌避効果

区分	供用羽数	供用鶏齢	供試ランプ	波長	照度(ルックス)
試験1区	26羽	27週齢	白熱電球60W	950mm	220~30
2	26	95	"	"	"
3	26	27	防虫ランプ60W	500~580	80~10
4	26	95	"	"	"

1.2区17時間点灯 3.4区終夜点灯

照度は電灯から1m~25m離れた給餌器の位置

表3 鶏舎構造によるニワトリヌカカの採取比較

調査回数	天候	温度	開放鶏舎				備考	
			オス	メス	吸血メス	オス		
1	曇	22.3	26	11	13	3	0	採取終了
2	晴後曇	23.0	148	101	75	4	4	間夜
3	曇後雨	26.8	81	85	109	0	0	
4	晴	21.2	8	72	330	2	3	
5	晴	21.4	56	173	147	1	2	
6	晴	26.7	42	46	9	1	0	
7	曇	20.5	27	62	189	0	3	

- 4 -

虫) 剤の防除効果
ニワトリヌカカの防除対策として従来から、ダニ、エ駆除に使用されていたカーバメイト系製剤等を、利用してのニワトリヌカカに対する忌避(殺虫)効果

試験区分としては、表2のとおりで、若い雌鶏と古い雌鶏を使って六月から八月まで実施する。

なお、鶏舎構造の差によるニワトリヌカカの採取状況については表3のとおりで、当場の場合開放鶏舎に比較してウインドウレス鶏舎(陽圧式)の方が非常に少なく効果的な成績が得られている。

防虫ランプ(波長五〇〇~五八〇ミリ)の忌避効果を應用してニワトリヌカカを防虫ランプ(波長五〇〇~五八〇ミリ)に対する防虫ランプの忌避効果

試験区分としては、表2のとおりで、若い雌鶏と古い雌鶏を使って六月から八月まで実施する。

なお、鶏舎構造の差によるニワトリヌカカの採取状況については表3のとおりで、当場の場合開放鶏舎に比較してウインドウレス鶏舎(陽圧式)の方が非常に少なく効果的な成績が得られている。

表4 ニワトリヌカカに対する忌避(殺虫)効果

調査回数	天候	温度	無散布区				備考	
			オス	メス	吸血メス	オス		
1	晴	18.5	9	2	0	1	0	探取時間(1~3時)
2	曇	22.0	4	3	0	0	0	"
3	曇	22.0	26	11	13	6	20	終夜
4	晴後曇	23.0	148	101	75	106	115	"
5	晴	21.4	56	173	147	30	68	"

注 敷布区は薬剤散布5日目の成績

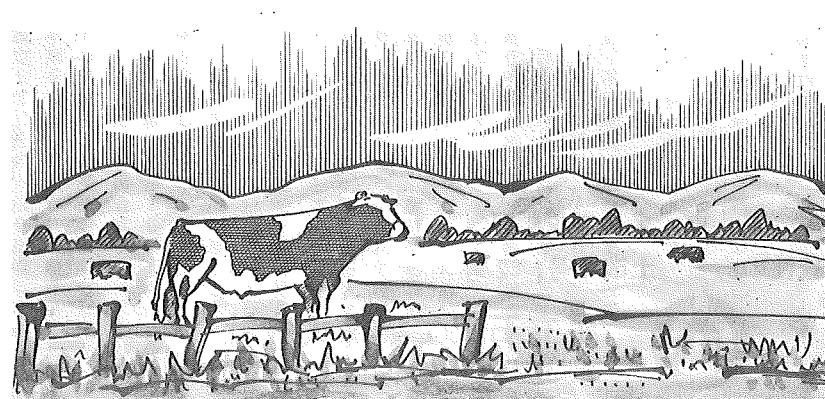
表5 ニワトリヌカカに対する忌避剤の防虫効果

区分	無散布区			A剤200倍区			A剤500倍区			B剤500倍区		
	オス	メス	吸血メス	オス	メス	吸血メス	オス	メス	吸血メス	オス	メス	吸血メス
散布後1日目	100	100	100	27	14	33	20	10	33	100	62	66
4	100	100	100	73	77	23	71	77	40	77	51	79
6	100	100	100	71	87	32	56	55	14	113	71	56

注 無散布区を100とした指標による比較成績

表6 忌避剤散布により産卵飼料摂取量に及ぼす影響

区分	無散布区	A剤200倍区	A剤500倍区	B剤500倍区
産卵率	87.3%	86.6%	86.6%	87.3%
飼料摂取量	97.5g	98.3g	96.5g	96.2g



牧養力を実証していきます。

なお、除草剤としては、前植生の状態により、野草・灌木の侵入の旺盛な草地には、塩素酸ソーダ（クサトール）〇・八一・二kg/aを使用し、牧草の密度の低下した草地には、バラコート（グラモキンソン）一〇・三〇cc/aを使用し、また、多年性の耕地雜草（ギシギシ等）の侵入の多い草地には、アシュラム（アージラン）一五〇・三〇〇cc/aを使用して、その草地更新に対する効果とか撒布時期を検討する予定にしております。

六、集団肥育施設の合理的運営に関する組織的調査研究
(試験期間五一～五三)

阿新地域は、和牛の生産地として、県内繁殖和牛の約二〇%が飼育されていますが、この地域の肉用牛増殖施策として、昭和四八年から肉用牛生産團地育成事業と飼料基盤整備事業が併せ実施され、新見市千屋に阿新農協運営の集団肥育施設が設置されています。

その施設においては、地域内で生産された去勢雄子牛を、一六カ月肥育で仕上体重六〇〇kgのもの、二〇〇頭の肥育事業が行われています。

その事業の円滑な推進をはかるため、同施設に焦点を当て、試験研究・普及・行政の三組織が一体となって、チームワークで問題点の摘出をはかり、技術の解明を行って、合理的な運営に資しようとする

るものです。

従つて、そのためには、地元関係機関はもとより、前期関係諸機関の御協力を是非お願いする次第です。

七、その他

和牛の産肉能力向上特に肉質改善向上は、岡山県和牛に課せられた最も重要な課題であります。本年度も和牛の産肉能

力検定事業として直接法による検定を、県内阿新・美作の両肉用牛種畜生産基地で、生産された血統・体型・質の優れた雄子牛三二頭について、前年度に引き続き実施します。

さらに、間接法による検定を、前年度から継続中の種雄牛奥繁号・渡辺号の二セツトと、本年度は新たに種雄牛第三花房号と、もう二つの種雄牛について、新法（本年度から一セツト八頭、検定期間三六四日間）により実施する予定です。

そして、これらの検定事業を強力に推進することにより、当場の特色である繫養和牛種雄牛の産肉能力の向上をはかり、岡山県和牛の改良促進に役立てるとともに、和牛飼養農家の交配の指標にと念願しております。



肉用牛肥育

昭和五一年度畜産コンサルタント事業で診断した肉用牛（黒毛和種）肥育経営の事例を紹介する。

対象事例数は二事例であったが、特殊の事例で、一般的の肥育経営とは内容を異なるものであることを先もっておこなうとしておく。

岡山県産の和牛子牛について的一般的風評として、肥育した時枝肉の格付が上以上になかなかならず、中になる率が高いと言わわれおり、日本肉食格付協会発表の「格付結果の概要」を見ても上以上に格付される率が低い。診断対象二事例は生体販売なので枝肉の格付成績は出ないが生体販売単価から枝肉単価に換算し、これを枝肉規格に当てはめると平均的に中規格に該当する。

岡山県産の和牛は、はたして質が良くないのである。最近標準的和牛肥育経営の診断事例がないので、岡山県産の和牛子牛を多く使って肥育して良い成績をあげている県外のある経営の同時期の実績と比較して見ることにする。

一 経営概況

表1 経営概況

区分	飼養規模	年間販売頭数	肥育牛の種類	経営類型	労働力
A 県内	常時 98頭	75頭	黒去 雄	主畜経営	男1人女1人臨時1人平均
B "	" 78 "	47 "	黒去 雌	協業経営	男2人
C 県外	" 45 "	26 "	黒去	複合経営	男1人 女1人

表2 販売肉牛（去勢牛）1頭当たり平均（S 51.1～51.12）

区分	素牛体重	素牛価額	出荷時体重	販売価額	枝肉重量	枝肉単価	肥育日数	DG
A	240 kg	221,567 円	555 kg	559,820 円	(388) kg	(1,656) 円	555 日	0.57
B	250	194,975	560	564,597	(341)	(1,656)	495	0.62
C	230	185,557	596	726,157	367	2,022	668	(0.6)

表3 販売肉牛の枝肉規格

区分	出荷頭数	枝肉規格	備考
A	30	特選 極上 上 中 並	{ 生体単価から推定して 平均規格中 岡山県産牛の成績上位率75% 全出荷牛の成績上位率73%
B	41	一 一 一 一 ○	
C	12	一 1 8 3 一	

区分	1日1頭当たり	注1. 増加額=(販売価額-素牛価額)÷肥育日数	D
A	610円	584円 26円	
B	746	584 162	
C	809	337 472	

畜産コンサルタント巡回指導簿より

二 肥育成績

同じ岡山県産の素牛を使って肥育し乍らなぜこれ程の差が出るのであろうか。先ず経費について調べるとその内訳は表5の通りで、一日一頭当たりの購入飼料費に大変な差がある。Cの飼料給与量は資料によると表6の通りで肥育前期の濃厚飼料給与量は一日4kgで、牧草の給与を二～三kgしているのが特長である。

Cの購入濃厚飼料の平均単価は五六円と量が重い。枝肉単価、販売価格が高いことである。その内特に枝肉単価の差が大きい。

さらに枝肉規格を調べてみるとCは表3の通り上以上の適合率が七二%と極めて高く、A,Bは生体販売のため規格は不明であるが生体単価から推定して行くとA,Bは前年度も診断しており、以前はA,BとCの間で差の大きいのはCの方にするため、A,Bは去勢牛のみ、Cは岡山県の去勢牛のみの平均成績を示した。

A,BとCの間で差の大きいのはCの方にするため、A,Bは去勢牛のみ、Cは岡山県の去勢牛のみの平均成績を示した。A,BとCの間で差の大きいのはCの方にするため、A,Bは去勢牛のみ、Cは岡山県の去勢牛のみの平均成績を示した。

3の通り上以上の適合率が七二%と極めて高く、A,Bは生体販売のため規格は不明であるが生体単価から推定して行くとA,Bは前年度も診断しており、以前は肥育日数がCと同じ位い長かったが、販売価額はあまり高くならず、一日当たり差益も低いので飼育環境の整備をし、増体重が短くなつたが、D,Gはまだ〇・六前後にすぎない。

五一年度に販売した肉牛の一日一頭当たりの差益を見ると表4の通り大変な差が出て来る。これから更に販売経費、管理費、支払利息等引くとAは完全な赤字経営となり、反対にCは相当な所得となっている。

三 要因

同じ岡山県産の素牛を使つて肥育し乍らなぜこれ程の差が出るのであろうか。

先ず経費について調べるとその内訳は

表5の通りで、一日一頭当たりの購入飼料

費に大変な差がある。Cの飼料給与量は

資料によると表6の通りで肥育前期の

濃厚飼料給与量は一日4kgで、牧草の給

与を二～三kgしているのが特長である。

Cの購入濃厚飼料の平均単価は五六円と

量が重い。枝肉単価、販売価格が高いことである。その内特に枝肉単価の差が大きくなる。枝肉規格を調べてみるとCは表3の通り上以上の適合率が七二%と極めて高く、A,Bは生体販売のため規格は不明であるが生体単価から推定して行くとA,Bは前年度も診断しており、以前は肥育日数がCと同じ位い長かったが、販売価額はあまり高くならず、一日当たり差益も低いので飼育環境の整備をし、増体重が短くなつたが、D,Gはまだ〇・六前後にすぎない。

五一年度に販売した肉牛の一日一頭当たりの差益を見ると表4の通り大変な差が出て来る。これから更に販売経費、管理費、支払利息等引くとAは完全な赤



タカキタ
高北農機株式会社

■仕様	
式	SH102
適正作業速度 m/s	0.5～1.0
作業能率 a/h	10～25
長さ 計量ホイル式	
巾 ミリ	1,600
高さ ミリ	1,650
重量 キロ	900
作業巾 ミリ	1,200
高さ ミリ	300
巾 ミリ	400
包り 長さ	300～700 (無段調節式)
エンジン	1,000 cc・ 水冷4気筒 .4サイクル (ガソリン) 出力18～21 PS

※この仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
高北農機株式会社岡山出張所
岡山市山崎28番地 TEL (0862) 77-1576

・六前後なので濃厚飼料要求率は八・三位になる。

A・Bの濃厚飼料要求率は一以上で、極めて悪い。その原因是平素の飼養管理の差としか言いようがない。

Aは去勢牛は追込牛房で飼っているが、牛房内の牛糞の取出しはせず、牛糞が何十種も積っていてその中を牛が歩いていると言う状態で、頭数だけは多くして手が回らず、悪い見本のような経営と言える。

Bの場合は牛舎構造の不備、肥育前期の過度の放牧など、徐々に改善されているが、過去の悪い時代の成績が含まれていて、未だ全体の成績は良くない。

Cについては現地を見たわけではないが、牛舎構造はつなぎが大部分で、一部Cにおいては現地を見たわけではないが、牛舎構造はつなぎが大部分で、一部

十種も積っていてその中を牛が歩いていると言ったことはあるが、高く売れる

牛糞も積っていてその中を牛が歩いていると言ったことはあるが、高く売れる

貸付け条件

表5 1日1頭当り費用内訳

	A	B	C
購入飼料費	466 円	400 円	285 円
自給飼料費	0	10.1	13.6
購入敷料費	0	46.9	0
雇用労働費	3.5	82.3	0
家族〃	3.6	0	30.6
診療衛生費	1.3	9.5	1.7
水道光熱費	12.7	0.4	3.0
減価償却費	26.7	13.2	1.8
修繕費	4.7	12.4	0
小農具費	0.7	5.2	1.0
雑	1.2	4.1	0
当期費用合計	584	584	337

表6 飼料給与基準(Cの例)

	前期(250kg)	中期(450kg)	後期(550kg)
配合合	20 kg	3.5 kg	1.6 kg
圧ペン	—	1.4	5.6
粉碎	1.2	1.4	—
フス	0.8	0.7	0.8
濃厚飼料計	4.0	7.0	8.0
ラジール	54 g	54 g	54 g
稻ワラ	1.5 kg	1.5 kg	1.5 kg
牧草(夏)	3	—	—
サイレージ(冬)	(3)	—	—
T D N	3.2	5.0	5.7

原因しているのではないか。表6の通りCは前期濃厚飼料4kgにおさえ、粗飼料差と見て良く、ABとCの差は販売単価の差(肉質の差)と言えよう。

ABは過去において七〇〇日前後の長期肥育をしたこともあるが、高く売れたかった。枝肉販売でないので肉質判定は出来なかつたが、規格中程度のもの位にしか売れず、体重も五五〇kg位で出荷したことに対してCは六〇〇kg平均にして出荷している。

この差は結局平凡のことであるが平素の飼養管理と共に肥育前期の飼料給与が

肥育牛にはワラを少し与え、あとは濃厚飼料で良いのだ。多頭飼育しているのに自給飼料なんか作れるかと言う傾向が強いために見受けれるが、Cの実績を見ると自給飼料を作るとすることが飼料費と牛の売上価額に大変良い影響を与えて出荷している。

Cに劣らない実績をあげている経営も県内にあると思うが、優れた経営は診断しているように思える。

肥育牛にはワラを少し与え、あとは濃厚飼料で良いのだ。多頭飼育しているのに自給飼料なんか作れるかと言う傾向が強いために見受けれるが、Cの実績を見ると自給飼料を作るとすることが飼料費と牛の売上価額に大変良い影響を与えて出荷している。

Cに劣らない実績をあげている経営も

県内にあると思うが、優れた経営は診断

している。

肥育牛にはワラを少し与え、あとは濃厚飼料で良いのだ。多頭飼育しているのに自給飼料なんか作れるかと言う傾向が強いために見受けれるが、Cの実績を見ると自給飼料を作るとこれが飼料費と牛の売上価額に大変良い影響を与えて出荷している。

Cに劣らない実績をあげている経営も

県内にあると思うが、優れた絏営は

診断している。

肥育牛にはワラを少し与え、あとは濃厚飼料で良いのだ。多頭飼育しているのに自給飼料なんか作れるかと言う傾向が強いために見受けれるが、Cの実績を見ると自給飼料を作るとこれが飼料費と牛の売上価額に大変良い影響を与えて出荷している。

Cに劣らない実績をあげている絏営も

県内にあると思うが、優れた絏営は

診断している。

肥育牛にはワラを少し与え、あとは濃厚飼料で良いのだ。多頭飼育しているのに自給飼料なんか作れるかと言う傾向が強いために見受けれるが、Cの実績

酪農試験場のページ

ソルゴーの利用性

専門研究員 三宅律太

品種		番号	区分・項目	草高 130cm	草高 170cm	穂ばらみ	出穗開花	乳熟	糊熟
スイートコーン	1	収量 kg/a	265	325	340	440	435		
			乾物率	15.2	18.0	20.8	24.4	27.3	
		12mm 切断	採食量	41.1	38.8	39.2	34.5	30.1	
			DM%	6.3	7.0	8.2	8.4	8.2	
			DM体重比	1.3	1.5	1.7	1.8	1.7	
	2	34mm 切断	採食量	38.5	33.4	30.4	25.0	22.3	
			DM%	5.9	6.0	6.8	6.1	6.1	
			DM体重比	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	
		収量 kg/a	305	320	475	455	430	420	
			乾物率	9.8	10.8	13.5	19.0	22.1	27.2
ソルゴム	1	12mm 切断	採食量	55.3	57.2	49.7	43.7	36.5	29.0
			DM%	5.4	6.2	6.7	8.3	8.1	7.9
			DM体重比	1.1	1.3	1.4	1.8	1.7	1.7
		34mm 切断	採食量	56.2	55.2	44.0	35.0	27.9	22.0
			DM%	5.5	5.9	5.9	6.7	6.2	6.0
			DM体重比	1.2	1.3	1.3	1.4	1.3	1.3
ハイブリットソルゴム	1	収量 kg/a	527	665	710	710	560	470	
			乾物率	10.0	11.9	12.6	20.7	21.8	23.9
		12mm 切断	採食量	52.0	47.9	46.4	37.3	36.1	35.3
			DM%	5.2	5.7	5.9	7.7	7.9	8.4
			DM体重比	0.95	1.04	1.07	1.41	1.44	1.55
		34mm 切断	採食量	41.0	37.8	37.7	25.8	25.8	22.2
			DM%	4.1	4.5	4.8	5.2	5.6	5.3
			DM体重比	0.75	0.82	0.87	0.96	1.03	0.97
	2	収量 kg/a	240	450	670	510	480		
			乾物率	10.4	11.4	14.8	20.0	23.0	
		12mm 切断	採食量	63.0	69.4	57.9	46.6	47.2	
			DM%	6.6	7.9	8.6	9.3	10.9	
			DM体重比	1.20	1.45	1.57	1.71	1.99	
		34mm 切断	採食量	62.3	61.9	46.8	26.0	32.2	
			DM%	6.1	7.2	6.9	5.2	7.4	
			DM体重比	1.12	1.33	1.27	0.95	1.36	

の九〇%採食に対し、ソルゴーは七三%と低くなっています。又、福岡種畜場が行つたスイートソルゴーとハイブリッドソルゴーの刈取回次、ステージ、切断長の差による採食能をみると、表二のとおりで、両品種ともステージの進むにつれ生草の摂取量は直線的に低下していくが、細切（カッター一二型）することにより採食能は増すようですが、特に細切によって乾物摂取量の低下する時期をおくらることができます。

ソルゴーでは、研究年次が異なり、供試牛の体重も違うことから最密な比較にはならないが、二番刈ではその採食性に大きな差はなく、一番刈ではスイートソルゴーが採食性は良いようです。これ等の点を考えて、青刈用とサイレージ用の使い分けをすることが必要です。当場の過去の経験でも出穂期頃までは細切しながらかなり採食し、特に二番刈ではそのままでも採食するが、この時期を過ぎると急に採食性が低下し、出穂前期の雑種

ソルゴーをカッターで3cmに切断したのと押切りで15-20cmに切断したのをそれぞれ体重の一〇%量（生草で四・三kg）給与して比較した場合、三のものは四〇・二五kg（七四・一%）
一五-二〇cmでは二七・五七kg（五七%）の採食で、細切による効果は大きいです。しかし、労力の点等も考え合せ
青刈用とサイレージ用を区分して、細くても食うような青刈利用ができるようになります。

三一 サイレージの利用性

ソルゴーは、西南暖地における夏期飼料作物として、從来から栽培されていましたが、風で倒れにくい上に機械刈適性に富み、再生を利用しての省力多収が可能である等の特性から、その栽培利用が増加して來ています。しかし、家畜サイドから考えた場合、莖稈が早期に硬化し、乳牛の採食性に問題があるようで、「ソルゴーはどうも食べ残しが多くて困る。」「サイレージにしても食いが悪い。」「台風や病気には強いし二番刈もでき、栽培も容易であるが、牛が良く食わない他の作物に換えたい。」等の言葉を耳にすることがあります。たしかにソルゴーは、とうもろこしに比べると採食性が劣るとうですが、食いが良くないからとあきらめてしまうにはおしい作物だと思います。そこで何とか家畜サイドで研究工夫をして有効に利用することを考えて見よう」と言ふことで、特に九州地区を中心にソル

ガムの利用性向上に関する研究が盛に行われています。まだ研究の途中でこうすれば一〇〇%採食してくれると言う技術ではありませんが、今までの成果の中からソルゴーの利用性向上について参考になると思われるものを二、三紹介してみます。

一 利用する側で作物の特性を
知ること。

表 1 雜種ソ ク		作 物 名	生育ステージ ・草丈
雑ソ	ルゴ		
	草一	出穗始 181cm	出穗期 209cm
		出穗期 216cm	出穗推 216cm
青トウモロコシ	刈	出穗始 241cm	出穗期 193cm
		出穗期 215cm	出穗推 215cm

表1 雜種ソルゴーと青刈とうもろこしの採食性							
作物名	生育ステージ ・草丈	DM%	採食量	採食率	対体重の割合	体重に対するDM割合	備考
雑種ソルゴー	出穂始 181cm	13.09	53.5kg	95%	9.5%	13%	1区 3頭 反転法
	出穂期 209cm	13.70	51.3	98	9.7	13	
	出穂終 216cm	16.38	41.3	73	7.3	12	
青トウモロコシ	出穂始 241cm	13.15	51.8	99	9.9	13	
	出穂期 193cm 山形品種	14.77	51.9	92	9.2	14	

注 1.粗資料は両作物ともカシタ-で約3cmに切断し、体重の10%量を給与した。
(鶴山政試 1965)

DAIRY の製品

生乳20%の増産は害虫のいない環境

二 卷 1% (50卷入20年)

超大卷 1 c/s (50卷入12缶)

136 (2015年1月号)

1% (300枚入×50箱)

ネズミから飼料の損害を防ぐ

1 % (160 g × 100枚)

商合

豐年藥品商會

大阪市住之江区東加賀屋3丁目2-6 〒559 TEL大阪06(681)5662(代表)

- 12 -

一般にサイレージの品質（フレーク）は、ステージが進むにつれて良質となる傾向がありますが、この品質と採食性の関係は必ずしも同一ではなく、若刈りの方が良く食べると言う結果がかなり認められます。当場でのフォーレージハーベスター／ダイレクトカットにより調製したハイブリッドソルゴーサイレージの試験結果を見ても、表三に示すように、ステージのおそいものが品質は良いが、採食量は一番刈乳熟期で特に低下がみられます。

ソルゴーは、青刈利用よりサイレージ利用が主流であり、サイレージに関する研究はかなり多くみられます。西南暖地での国や県の成績概要是、畜産の研究第三〇巻の一・三号に「ソルガムサイレージの利用技術とその改善」として農林省九州農業試験場の川閑氏が記述されており、その中に当場の成果も六つばかりありますので、若しくわざわざ知りたい方は一読下さい。

